

# Frontliner

[フロントライナー]

株式会社日本保健衛生協会  
第1事業部  
サニタリーグループ  
発行責任者/有本由伸

スタッフの皆さん、日々の業務にご尽力いただきありがとうございます。

今年の夏(6~8月)は全国的に気温が高く、降水量もかなり多かったそうです。群馬県伊勢崎市では観測史上初めて6月の最高気温が40℃を超え、また8月には東京で猛暑日(最高気温が35℃以上の日)が16日となり過去最高を記録しました。

日中はまだ汗ばむ日もありますが、9月に入り朝晩はめっきり涼しくなり過ごしやすくなりました。季節が少しずつ秋に移っているのだと実感します。

毎年9月1日は「防災の日」です。災害についての認識を深め、防災の心構えを準備するために制定されました。

先月、警備業のセコム株式会社が、全国の20歳以上の男女500人を対象にインターネット上で「防災に関する意識調査」を行いました。その結果、90.2%の人が災害は増加すると回答したものの、一方で防災対策をしている人は47.0%だったそうです。

また、災害時にスマートフォンや携帯電話などの通話機能が使えなくなった場合、代替の連絡手段があるかどうかという質問に、「ない」と答えた人は95.6%に上ったそうです。

災害ではありませんでしたが、昨年10月と今年7月に携帯電話会社の大規模な通信障害が発生したため、多くの人が通話や通信ができなくなったのは記憶に新しいところです。いざというときのために代わりとなる連絡手段を日頃から考えておきましょう。

## 9月1日は「防災の日」

### 災害時の連絡手段はどうしよう

**災**害時にスマホや携帯電話が通じなくなると代わりの連絡手段がない人はおよそ95%に上ります。

そうしたときに役立つのが公衆電話ですが、最近はスマホや携帯電話の普及で数が減っています。あらかじめ自宅や職場の近くの設置場所を把握しておきましょう(NTT 西日本のホームページ「公衆電話 設置場所検索」で検索できます)。

**大**規模災害が発生したときには、NTT 西日本と東日本が提供する「災害用伝言ダイヤル171(電話サービス)」や「災害用伝言板 web171(ネットサービス)」もあります。また災害時に携帯キャリアに関係なく無料で使える「00000 JAPAN(ファイブゼロジャパン)」という公衆無線 LAN サービスもあります。

日頃から代わりの連絡手段を考えておきましょう。

#### 災害伝言用ダイヤル171

- 1・7・1にダイヤルします。  
ガイダンスに従い利用します。

#### 災害伝言板 web171

- <https://www.web171.jp>  
にアクセスします。  
画面の指示に従い利用します。

#### 体験利用

- 毎月1日および15日 00時00分~24時00分
- 1月1日00時00分 ~ 1月3日24時00分
- 防災週間 8月30日9時00分 ~ 9月5日17時00分
- 防災とボランティア週間 1月15日9時00分 ~ 1月21日17時00分

#### 00000JAPAN(ファイブゼロジャパン)

- スマートフォンの Wi-fi 画面のネットワーク一覧から、「00000JAPAN」を選択して接続します。
- 利用できる場所
  - ・普段のフリーWi-fi が提供されているアクセスポイント
  - ・避難所に設置された臨時のアクセスポイント
- 利用時間や回数の制限はありません。

# 私たちの作業に潜む危険

10月から全国労働衛生週間が始まります。

働く高齢者が増えている現在、高齢労働者の労働災害(新型コロナ感染を除く)は増加傾向にあります。私たち皆で、労働災害防止を図る意識を高めましょう。

## 令和4年度 全国労働衛生週間 (10月1日～7日)

全国労働衛生週間スローガン

あなたの健康があつてこそ  
笑顔があふれる健康職場

期間 10月1日～7日 (準備期間 9月1日～30日)

**全** 国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など労働衛生に関する意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として毎年行われています。

これを機会に私たちも労働衛生管理の大切さを見直し、健康づくりに取り組みましょう。

参考:中央労働災害防止協会ホームページ

## どんな労働災害が起きている？ 令和3年 労働災害発生状況

**令** 和3年労働災害発生状況(ビルメンテナンス業)によると、発生数は3,538件(うち死亡17件)でした。

事故型別でみると、転倒(1,709件)が一番多く、次いで墜落・転落(663件)、動作の反動・無理な動作(437件)となっています。

年齢別でみると、一番多いのが60歳以上(2,260件)、次いで50～59歳(627件)、40～49歳(323件)と、年齢が高くなるほど事故の発生件数が多くなっています。

➤ のように労働災害の発生率は、若年層より高齢層  
➪ が高く、かつ転倒事故や墜落・転落事故の発生率が高いことが分かります。

高齢者は身体機能(とくに平衡感覚機能)が低下するため、労働災害が発生しやすいと考えられます。

では清掃現場では具体的にどんな災害事例があるのか、次項で見えてみることにしましょう。

事故型別による発生件数(令和3年) (件)

事故型	発生数	死亡数
1 転倒	1,709	10
2 墜落・転落	663	1
3 動作の反動・無理な動作	437	0
4 激突	183	0
5 はさまれ・巻き込まれ	156	0

年齢別による発生件数(令和3年) (件)

年齢別	発生数	死亡数
1 60歳以上	2,260	12
2 50～59歳	627	3
3 40～49歳	323	2
4 30～39歳	181	0
5 20～29歳	132	0

参考:厚生労働省ホームページ



## 転倒の事例

- トイレ清掃後、扉を背中を押して出ようとした際に転倒。  
→腰を強打
- モップで清掃中、濡れていた場所で足を滑らせ転倒。  
→手首を骨折
- トイレの清掃後、立ち上がろうとして足を滑らせ転倒。  
→手首を骨折

## 転倒防止のポイント

- 床が濡れている場合はすぐに拭き取る。
- 滑りにくい作業靴を着用する。
- 手に道具を持ったままや不自然な体勢のまま、動作を行わないようにする。

## 墜落・転落の事例

- 掃除機を持って階段を移動中、足を踏み外して転落。  
→頭部を強打
- 棚の上部をイスに乗って清掃中、バランスを崩し転落。  
→腕を骨折
- 脚立での清掃後、脚立から降りる際に足を滑らせ転落。  
→手首を骨折

## 墜落・転落防止のポイント

- 荷物を持ち運ぶ際は、エレベーターを使用する。  
階段を使用する際は、片手で手すりを持って移動する。
- イスに乗って作業しない。
- 脚立は一人で使わず、ヘルメットなどの保護具を着用する。

## 動作の反動・無理な動作の事例

- 便器清掃後、立ち上がった際に腰に痛みが生じた。  
→急性腰椎症
- 大型のポリバケツを持ち上げる際に腰に痛みが生じた。  
→急性腰椎症
- 歩行中につまずき、足を着地した際に足に痛みが生じた。  
→足首をねん挫

## 動作の反動・無理な動作防止のポイント

- 中腰や前かがみなど、不自然な姿勢のまま作業しない。
- 長時間、同じ姿勢のまま作業しない。
- 台車やカートなどを使用して適切な作業姿勢をとる。
- 荷物はいきなり上げずに、膝を使って持ち上げる。

いずれの労働災害も人の行動が原因で発生するものですから、完全に無くすことはできません。  
ただし発生する確率を低く抑えることは可能です。  
指差呼称で「段差ヨシ」「床面ヨシ」「足元ヨシ」と一人KY(危険予知)を行うことで安全意識が高まります。